

令和3年7月20日（水）

## 令和3年度 1学期終業式 式辞

皆さん、おはようございます。

最初に、校則についてお話しします。先日、「校則に係るアンケート調査」を実施しました。これは、全国的に、いわゆるブラック校則が話題となる中で、本校の校則が時代に見合ったものになっているか、皆さんの学校生活を安心・安全なものにするものとなっているかを、生徒の皆さんと一緒に点検し、校則の意義をあらためて考えてもらうために実施しました。

回答者190名中、校則は必要であると答えた人は177名（93%）にも上りました。また、本校の校則はそのままよいという人も、150名（79%）でした。この結果をふまえ、本校の校則を今すぐ改訂するという事はしません、今後何か問題が生じた場合は、生徒の皆さんと一緒に改善を図っていくことを、昨日生徒会の皆さんと確認しました。

校則の意義については、皆さんがしっかりとアンケートに書いてくれていました。やはり、考え方の違う人が集まって一つの集団を形成するには、必ず最低限のルールが必要となります。それがなければ、お互いに安心して生活が送れなくなります。しかし、そのルールが厳しすぎたり、的外れであったりすると、逆に息苦しくもなります。どこで折り合いをつけるか、どこに線を引くか、そこに知恵が必要となります。皆で知恵を出し合いながらより良いルールを作っていく、これが民主主義の本質だろうと考えます。

さて、今日で1学期が終了します。コロナの第4波が到来し、体育大会をはじめいろいろな行事が規模の縮小などを余儀なくされましたが、それでも「学びを止めない」ということで、何とか工夫をしながら実施をしてきました。皆さんも日々努力をして、1学期だけでも随分と成長したのではないかと思います。特に、1学期は「地域貢献活動」で顕著な成果がありました。7月7日に実施された「祈りの光プロジェクト」では、約1000個の灯籠で「憩いの広場」を埋め尽くし、多くの地域住民の方を楽しませることができました。また「ミドリズムサマーコンサート」では、非常に質の高い演奏で、来場した保護者や地域の方々に感動を与えることができました。

芸術の力でみんなを元気にする、芸術の力で地域を活性化する、本校に与えられたミッションを2学期以降もしっかりと形にしたいと思います。

いよいよ明日から夏休みに入ります。一人ひとりがこの夏の目標をしっかりと持って、その達成に向けて早速今日から行動を起こしてください。3年生は夏休みが終われば、いよいよ入試が始まります。第一志望の達成に向けて、ここが勝負どころです。できない理由を探すのではなく、小さなできるをたくさん積み重ねてください。そうする以外にゴールにたどり着くことはできません。

それから、コロナへの対策もぬかりなくお願いします。すでに都市部では第5波の到来が叫ばれています。夏休みを機に大分へも多くの人がやって来るとおられます。不用意にマスクを外してしゃべったり、大人数で会食したり、カラオケに行ったりすることのないよう、十分注意してください。

元気な姿で2学期にお会いできることを楽しみにしています。以上で式辞を終わります。